

令和2年2月28日

利用者及び御家族の方へ

京 都 市

**新型コロナウイルスに関連した感染症対策について（2月28日現在）**

平素より、本市の児童福祉に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、国内において新型コロナウイルスに感染した事例が相次いで報告される中、今後は感染をできる限り抑えることが重要になっております。

当施設におきましても、感染予防のための対応をしておりますが、御家庭におかれましても以下のことに御注意いただき、利用者の方に風邪の症状等が見られる場合は、速やかに、施設へ御連絡をいただきますようお願いいたします。

## 記

**1 本市における対応****(1) 対応における基本的な考え方**

- ・ 各施設においては、利用者や職員間の感染防止のため、万全を期す。
- ・ 今回の政府の要請を踏まえ、本市においては、現時点で、感染が拡大している状況にはないが、感染のリスクを予防する観点から、市立学校及び子育て支援施設（保育所等、私立幼稚園のうち保育を必要とする園児、学童クラブ事業を除く）は、3月5日から臨時休校・休所する。
- ・ 一方、保護者が働いており、自宅等で子どもだけでは過ごすことができない場合等も想定されることから、保護者等に対して、可能な限り自宅での保育を要請したうえで、保育所等、私立幼稚園のうち保育を必要とする園児、学童クラブ事業は開所する。
- ・ 学童クラブ事業の対象となる「就労等のため親が不在となり、家庭で過ごすことが困難な小学生」について、通常の授業時間は市立小学校において対応することから、学童クラブについては、通常どおり終業以降の登録児童について対応するものとする。

**(2) 子育て支援施設の対応一覧**

別紙のとおり

**2 利用者の方にお願ひしたいこと****(1) 自宅での保育について**

可能な限り、自宅での保育に御協力をいただくようお願いします。

**(2) 感染症対策の徹底**

- ・ 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がけるようにしてください。

- ・ 手洗いや咳エチケット等，基本的な感染症対策を徹底してください。

- 帰宅時や調理の前後，食事の前などにこまめに石鹸やアルコール消毒液などで手を洗いましょう。
- 咳などの症状がある場合は，咳やくしゃみを手で押さえると，その手で触ったものにもウイルスが付着し，ドアノブ等を介して他の方に病気をうつす可能性がありますので，マスクを着用する等，咳エチケットを行ってください。
- 持病がある方などは，公共交通機関や人混みの多い場所を避けるなど，より一層注意してください。

### (3) 利用前の健康観察の実施等

- ・ 利用前に，発熱や咳などの風邪の症状はないかなど，健康観察を行ってください。
- ・ 利用者や御家族に発熱等の風邪症状がみられる場合や利用に当たって不安を感じられる場合は，無理をせず，当施設に連絡のうえ，利用を控えて，自宅で休養してください。
- ・ 以下の症状が続く場合は，速やかに，帰国者・接触者相談センター（電話075-222-3421，土・日・祝日を含む24時間対応）に御相談いただくとともに，当施設まで一報をお願いします。また，医療機関を受診した結果についても，当施設まで一報をお願いします。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならぬときを含む）
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ※ 基礎疾患等がある方や妊婦の方は，上の状態が2日程度続く場合

### (4) その他

- ・ 当施設においては，新型コロナウイルス感染症を理由とする差別や偏見などの人権侵害が生じないように，十分に配慮して指導しておりますので，利用者の皆様におかれましても，御理解と御協力をお願いいたします。
- ・ 新型コロナウイルス感染症におきましては，日々状況が変化していることから，今後の状況により，改めて利用者の皆様に御協力をお願いする場合がありますので，御承知おきください。

(参考)京都市情報館ホームページより

#### 新型コロナウイルス感染症とは

- ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。
- 感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。
- 新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。
- 重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特に御高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

※ 飛沫感染 … 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

※ 接触感染 … 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

#### 日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう

最初に現れる症状は、発熱・咳等で、普通の風邪と変わりませんが、普通の風邪よりも長引くことが特徴です。

発熱等の風邪の症状がみられる間は、学校や会社を休み、外出を控えて静養してください。

発熱等の風邪症状が見られたら、お近くの医療機関に相談・受診をしてください。その際には、毎日の症状や体温測定の結果を見せてください。

持病がある方や高齢の方は、できるだけ人ごみの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。